

食事サービス活動は、在宅高齢者の自立した生活を支援する最も基本的なサービスとして各地で取り組まれております。その活動形態も配食サービス、会食サービス、ミニデイなど地域ニーズに合わせて「食」を通じた在宅支援を柔軟に実施しています。

2001年度に「食を通じた自立支援検討委員会」が実施した自治体へのアンケート調査によると、①食事サービスの開始時期は1990年以降特に95年以降に増加しており、配食サービスについては約8割の自治体の実施し、②その中で約半数近くの自治体では住民団体が食事サービス活動に取り組むと共に、③約7割の自治体では「活動拠点への支援」などにて住民参加型団体を支援しています。このことから、食事サービスに関する社会的なニーズの増大と、サービスの一翼を担う住民団体と自治体との連携のあり方が模索されている状況が伺えます。

日本各地の活動者を対象に、施策の最新情報提供とスキルアップを目指した講座を組んできた当セミナーも6年目を迎えました。本年度は、団体のコーディネーターの育成と、次世代の活動の担い手の育成、地域での活動理解の推進を目的とした教育機関との連携をテーマに、今後のよりよい食事サービス活動のあり方について考えます。

キーワード：

「サービスの質の向上」「総合学習」「担い手の育成」
「介護予防・生活支援（食の自立支援事業）」
「地域福祉計画」「住民参加と福祉コミュニティ」
「活動のインフラ整備」

会場までの地図



シニアワーク東京（東京都千代田区飯田橋3-10-3）
交通：JR総武線飯田橋駅東口徒歩7分
地下鉄（東西線・南北線・有楽町線）飯田橋駅（A2出口）徒歩5分／地下鉄（東西線・半蔵門線・新宿線）九段下駅徒歩10分

※車でのご来場はご遠慮ください。

参加申し込み／お問い合わせ先

全国老人給食協力会
ミールズ・オン・ホイールズ日本協会
ホームページ <http://www.mow.jp>

〒156-0054

東京都世田谷区桜丘4-13-21
老人給食協力会ふきのとう内

TEL 03-5426-2547

FAX 03-5426-2548

受付時間：月～金 午前10:00～午後5:00

第6回

全国食事サービス活動セミナー

～在宅福祉とコミュニティ～



日時 平成15年7月20日（日）
場所 シニアワーク東京
主催 全国老人給食協力会
（ミールズ・オン・ホイールズ日本協会）
共催 東京食事サービス連絡会
老人給食協力会ふきのとう
社会福祉法人ふきのとうの会
後援 厚生労働省／さわやか福祉財団／
東京ボランティア・市民活動センター／
高齢社会をよくする女性の会／
全国婦人新聞社（順不同）

全国老人給食協力会とは

コミュニティに暮らす人自らが参加して行う地域の食生活支援活動を、高齢社会に対応できるサービスとして育てていくことを目的に、全国で活動する団体や個人がつくる連絡組織です。

お申し込み方法

030529

参加費：会 員 5,500円（資料代、交流会費含）
一 般 6,000円（ ” ）

お申し込みは下記に必要事項をご記入の上、FAXまたは電話にてお願いします。折り返し受け付け番号をお知らせいたします。参加費は当日受付にてお支払いください。事前に申し込みがないと、当日会場において頂いても入場できない場合があります。必ず事前にお申し込みください。

参加申込書

| | |
|--|----------|
| ふりがな 氏 名： | 受 付 番 号 |
| 所 属（職 場）名： | |
| <input type="checkbox"/> 会 員 / <input type="checkbox"/> 一 般（どちらかに○） | |
| <input type="checkbox"/> 自 宅 / <input type="checkbox"/> 所 属（職 場） 住 所：〒 | |
| <input type="checkbox"/> 自 宅 / <input type="checkbox"/> 所 属（職 場） 電 話 番 号： | |
| ファクシミリ： | |
| 希望する分科会に○印を付けて下さい | |
| 分科会 | A ・ B |
| 交流会への参加 | する ・ しない |

(FAX03-5426-2548 / 電話03-5426-2547)
全国老人給食協会 行

プログラム（予定）

開 場（受付開始） 9：30

開 会 挨拶 9：50

講 演 10：00～10：30

「食事サービス施策の動向」

講 師：厚生労働省担当者

- ・食事サービス施策と住民参加
- ・活動環境のインフラ整備について
- ・「食の自立支援事業」

全 体 会 10：40～12：30

「食事サービスコーディネーターの役割」

食事サービス活動には、利用者のニーズ把握（調査含む）や在宅介護支援センター等の地域の関連機関と連携し、高齢者の在宅支援のネットワークを推進するコーディネート機能が求められています。各地の取り組み事例を基に、望ましいコーディネート機能とその役割について検証してゆきます。

進 行：安藤雄太氏（東京ボランティア・市民活動センター副所長）

報告者：内藤佳津雄氏（日本大学文理学部助教授）

藤田佐和子氏（NPO法人あかねグループ・仙台市）

安岡厚子氏（NPO法人サポートハウス年輪・西東京市）

アドバイザー：厚生労働省

休 憩 12：30～13：30

分科会(A,Bどちらかを選択) 13：30～14：50

分科会A「教育機関との連携（仮題）」

総合学習や職場体験などで、小・中学生等が活動現場に見学や体験学習に参加するようになってきまし

た。各地の取り組み事例を基に、活動団体における「食育」の考え方や教育機関とのよりよい交流、今後の連携のあり方について模索してゆきたいと思えます。

講 師：清水洋行氏（東京学芸大学社会学研究室講師）

事例報告：坂田朱美氏（NPO法人いきいき会・高槻市）

村山美智恵氏（NPO法人こぶしの会・大田区）

小山文子氏（大田区立中萩^{なかはぎ}小学校教諭）

コメンテーター：西村秀俊氏（日本ボランティア学会運営委員長）

平野眞佐子（全国老人給食協会の）

分科会B「老化を抑える食事づくり（仮題）」

健康を保ち、病気を予防するためには、栄養面のバランスを考えた食事をとる必要があります。よりよいサービスを提供するためにも「健康で長生きするための食生活の知識」をこの機会に正しく学んでゆきたいと思えます。

講師：柴田 博氏（桜美林大学教授・医学博士）

- ・健康のための食事
- ・老化を抑える食事づくり

移 動 ・ 休 憩 14：50～15：00

平成15年度 15：00～15：20

明治生命保険相互会社

市民参加型食事サービス活動助成贈呈式

総 括 15：20～15：40

山崎美貴子氏（東京ボランティア・市民活動センター所長 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部長）

交 流 会 15：40～16：30

各地の活動者と知り合いの輪を広げましょう。